

平成30年度 第1回周南市環境基本計画推進委員会 会議録

日時 平成30年7月13日(金)  
午後1時30分～午後2時35分  
会場 周南市役所シビックプラットホーム棟  
1階 多目的室

1 開会

出席委員13名

2 環境生活部長あいさつ

3 議事

- (1) 第2次周南市環境基本計画(後期)の策定について
- (2) 平成30年版環境報告書の作成について
- (3) エコ川柳について
- (4) その他

<質疑応答> (凡例 委員長:長、委員:委、事務局:事)

(1) 第2次周南市環境基本計画(後期)の策定について

委:資料1の6ページ「(2)見直し内容④」で、各施策のうち重点的に進める3つの事業を抽出。7ページ「4 個別実行計画(事務局案)のイメージ」で、具体例として3つの事業を出していますが、事業の内容が見えてこないのので、この事業の具体的な中身とかを教えてください。また、今、考えている事務局案を教えてください。

事:今回の中間見直しで、これまで5年間で取り組んできた事業を環境報告書に掲載しています。その中で、数値的な目標を掲げていますが、進捗率が伸びなかったり、逆に数値目標をクリアしていたり、進捗状況に差があります。事務局案では、成果が上がっている事業は個別実行計画に盛り込みたいと考えています。事業の内容は、委員のおっしゃるとおり、なかなか中身が見えない、何のために役立つのかイメージできないということはあるかと思いますので、市の事業を総括する中で、より詳しくお示ししたいと思います。報告書の中にある事業で、進捗率がよいものは、今後期待できる事業でもありますので、それは残したいと思います。次回の本委員会

では、強み、弱み、機会、脅威に分類して整理しますので、委員の皆さんからは事業案をお示ししていただきたいと思っています。

長：今、進捗率が伸びているものは、積極的にさらに伸ばして、それは理解できますが、伸びていないものは諦めということですか。

事：次回SWOT分析をして検討します。

委：資料－C、小・中学生対象のアンケートは、9月に市民向けと併せて、小中学校すべての学校で行う計画ですか。

事：都市計画マスタープランで定義する7つの地域指定区分ごとに小中学校1校ずつを抽出して、計14校にアンケートを実施したいと思います。対象は小学5年と中学2年生で学校には直接説明をします。まちづくり総合計画の見直しの中で9月に市民アンケートを実施する予定ですので、この時期に併せて行う予定です。

委：第2次周南市環境基本計画の後期の5年の計画で、アクションプラン的なものはこれに追加する形ですか。

事：この中に盛り込む形で考えています。

委：数値目標等はどうか気になります。

事：数値目標は、前期の計画では数値化できるものは数値化しました。後期は前期を踏襲するのではなく、進捗がわかりやすいとか、モチベーションの維持につながることであれば、数値目標としたいと思います。逆に委員がおっしゃられたことで、例として、水素自動車の普及率は国と同じような進捗になっていない状況ですので、既に水素利活用計画の中で下方修正された目標数値もあります。それについては基本計画も足並みを揃えた方がよいものもあります。目標を掲げてもあまり効果がないものは、除いてもよいと思いますが、これらのことは、委員からご忌憚のない意見をいただきたいと考えています。

委：条例、県の計画は5年間で変わっていませんか。

事：法令の変更はありません。県の環境基本計画は、市の計画と同じで中間見直しがあります。国はこのたび第五次環境基本計画を策定されたところです。たまたま第四次から第五次がこのタイミングでしたので、参考にしたいと考えています。

委：資料－C、アンケートの2ページ、年齢の区分はいろいろな見方があると思いますが、高齢化になってくると人口の割合が変わってくると思います。今回のアンケートだけではなく、他の調査でもあることなので、いつかどこかで議論あるいは意見があったことを気にしておいていただきたい。過去、周南市でパブリックコメントを募集して、どのくらいの実績がありましたか。

事：まず1点目のアンケートの年齢構成は、委員おっしゃるとおり超高齢社会に突入しています。市のアンケートにも関係がありますので、企画課と協議したいと思います。2点目のパブリックコメントは、件数、質問数は少ないと思っています。これについてはしっかりPRして、より多くのご意見をいただくように努めなければいけないと感じています。例えば、広報に目立つように掲載するとか、ホームページのトップページにより目立つように掲載するとか、デジタルサイネージとか、広告などの媒体もありますので、そこでしっかり呼び掛けるとか、積極的にPRすることで意見を出してもらえるように努めていきたいと思っています。

委：市広報は月に2回出していますが、掲載は1回だけです。期間中であれば、また市広報への掲載をしたらいいと思います。支所に資料は置いてありますが、行かないと見られないのが問題。県のパブリックコメントは新聞に載っていますが、市のパブリックコメントを新聞に載せることには無理がある気がします。

長：いろいろ工夫してやっていただきたい。

委：周南市と県内の他自治体とを比較して、長所、短所を出した上でやるのが、環境生活部の1つの仕事であるべきでは。周南市が勝っているということを県の中で考えてみてはどうでしょうか。

事：県内での状況を調べて、参考にできるものは計画に盛り込みたいと考えています。

委：計画書は県に提出しますか。

事：県、国に提出はしません。各市が条例に基づいて作成しています。先進事例があれば、参考にしていきたいと思っています。

委：資料-C、アンケートの28ページ、市民団体対象だけ、項目の配置が縦並びになっていますが、他のアンケートでは横並びになっています。

事：配置を統一します。

## (2) 平成30年版環境報告書の作成について

質疑なし

## (3) エコ川柳について

長：チラシは出来上がっていますか。

事：7月15日号の市広報に折り込みで全戸配布します。

委：チラシは、全戸配布のみですか。

事：市内約50か所に応募箱を設置して、その付近に30部ほどチラシを置きます。

#### (4) その他

委：エコ川柳の募集期間が長いので、市広報の再掲載等を考えていただきたい。環境報告書は市民への周知と企業の環境関係の部署に対してはどのようにされていますか。

事：環境報告書は、ホームページからダウンロードしていただいております。ご要望があれば提供しています。市民出前トークでは、周南市の環境というテーマで話す際に配付しています。コンビニート企業の環境部署には送付していますので、測定データは、各社の担当で確認されていると思います。

委：環境報告書の測定データはスケジュールのとおり掲載できますか。

事：測定データの年度が違くと、わかりにくいという意見がありますので、できるだけ最新データを使って、少しでも早く完成したいと考えています。県の環境白書の公表が秋ですので、県のデータを入手して最短で完成できるスケジュールが、1月頃になると考えています。

#### 4 閉会